

産学連携等研究経費及び寄附金 事業費等 貸付金 長期借入金償還金 国立大学財務・経営センター施設 費納付金 計				(注8)
収入－支出				

○予算と決算の差異について

- (注1) 施設整備費補助金については、〇〇の事業が翌年度に繰越となったため、予算額に比して決算額が△△百万円少額となっております。
- (注2) 授業料、入学料及び検定料収入については、平成〇〇年度入学者に係る授業料の前納を行わないこととしたため、予算額に比して決算金額が△△円少額となっております。
- (注3) 附属病院収入については、病床稼働率の向上、手術件数の増及び経費の節減に努めたこと等により予算金額に比して決算金額が△△円多額となっております。
- (注4) 雑収入については、主として〇〇〇〇等により、予算金額に比して決算金額が△△円少額となっております。
- (注5) 予算段階では予定していなかった国（の各組織、特殊法人及び民間）からの受託研究の獲得に努めたため、予算金額に比して△△円決算金額が多額となっております。
- (注6) 業務費については、教育研究経費において経費の節減に努めたため、予算金額に比して決算金額が△△円少額となっております。
- (注7) (注1)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が△△円少額となっております。
- (注8) (注5)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が△△円多額となっております。

【作成上の留意点】

- (1) 学生等に対する貸付事業を行っており、かつ当該事業に係る金額に重要性が認められる場合は、貸付事業に係る収入を「貸付回収金」、支出「貸付金」として記載してください。
- (2) 前年度以前における「財産処分収入」の繰越額を当年度に支出予定である場合、その相当額を当該区分に含めて計上し、支出は対応する区分に計上してください。また、当該額を注記願います。
- (3) 前年度以前における「産学連携等研究収入及び寄附金収入等」の繰越額を当年度に支出予定である場合、その相当額を当該区分に含めて計上してください。また、当該額を注記願います。
- (4) 前年度以前において計上した引当金を、引当計上目的に従って当年度に使用予

定である場合、収入は「引当金取崩」、支出は対応する区分に計上してください。

なお、支払財源が「産学連携等研究収入及び寄附金収入等」である場合、当該引当金取崩相当額について、収入は「産学連携等研究収入及び寄附金収入等」、支出は「産学連携等研究経費及び寄附金事業費等」としてそれぞれ同額計上する取扱いとします。

- (5)「目的積立金取崩」は、前中期目標期間繰越積立金取崩を含めて計上し、支出は対応する区分に計上してください。なお、年度計画における予算上、別に区分を設けている場合は、当該区分に記載して差し支えありません。

○ 予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった国立大学法人の行う〇〇事業に伴う特別運営費交付金が交付されたことにより、予算額に比して決算額が〇〇百万円多額となっております。
- (注2) 施設整備費補助金については、〇〇の事業が翌年度に繰越となったため、予算額に比して決算額が△△百万円少額となっております。
- (注3) 授業料、入学料及び検定料収入については、平成〇〇年度入学者に係る授業料の前納を行わないこととしたため、予算額に比して決算金額が△△円少額となっております。
- (注4) 附属病院収入については、病床稼働率の向上、手術件数の増及び経費の節減に努めたこと等により予算金額に比して決算金額が△△円多額となっております。
- (注5) 雑収入については、主として〇〇〇〇等により、予算金額に比して決算金額が△△円少額となっております。
- (注6) 予算段階では予定していなかった国（の各組織、特殊法人及び民間）からの受託研究の獲得に努めたため、予算金額に比して△△円決算金額が多額となっております。
- (注7) 業務費については、教育研究経費において経費の節減に努めたため、予算金額に比して決算金額が△△円少額となっております。
- (注8) (注2)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が△△円少額となっております。
- (注9) (注6)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が△△円多額となっております。

【作成上の留意点】

- (1) 学生等に対する貸付事業を行っており、かつ当該事業に係る金額に重要性が認められる場合は、貸付事業に係る収入を「貸付回収金」、支出「貸付金」として記載してください。
- (2) 前年度以前における「財産処分収入」の繰越額を当年度に支出予定である場合、その相当額を当該区分に含めて計上し、支出は対応する区分に計上してください。また、当該額を注記願います。
- (3) 前年度以前における「産学連携等研究収入及び寄附金収入等」の繰越額を当年度に支出予定である場合、その相当額を当該区分に含めて計上してください。また、当該額を注記願います。
- (4) 前年度以前において計上した引当金を、引当計上目的に従って当年度に使用予定である場合、収入は「引当金取崩」、支出は対応する区分に計上してください。なお、支払財源が「産学連携等研究収入及び寄附金収入等」である場合、当該引当金取崩相当額について、収入は「産学連携等研究収入及び寄附金収入等」、支出は「産学連携等研究経費及び寄附金事業費等」としてそれぞれ同額計上する取扱いとします。
- (5) 「目的積立金取崩」は、前中期目標期間繰越積立金取崩を含めて計上し、支出は

対応する区分に計上してください。なお、年度計画における予算上、別に区分を設けている場合は、当該区分に記載して差し支えありません。

(6) 補正予算が措置された場合は、年度計画に記載した区分けに従って、内数として下段に記載してください。

(例)	収入	
	施設整備費補助金	
	うち補正予算による追加	×××
	支出	
	施設整備費	
	うち〇〇事業	×××